

県政報告

広島県議会では6月定例会を6月23日から7月4日までの12日間の日程で開催され、物価高騰、新型コロナウイルス感染症への対応、アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けた補正予算、11件の条例案等が審議・決定されました。

《令和5年度6月定例会の概要》

■補正予算額 183億4千5百万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による課題に迅速かつ適切に対処するため、国の交付金等を活用し、物価高騰対策を切れ目なく実施します。

また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、必要となる医療提供体制の維持や相談窓口の設置等の感染症対策を実施します。

さらに、ウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたLXの実践など、令和5年度当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる取組を時機を逃さず実施します。

1 物価高騰等への対応

7,339百万円

(1) 物価高騰による影響の緩和 [6,665百万円]

○ 医療機関・社会福祉施設等への支援 公的価格により経営を行っている医療機関・社会福祉施設等に対して、原油価格・物価高騰による光熱費や食材費などの高騰の影響を緩和するため、価格高騰の影響額の一部を支援	2,092百万円
○ 特別高圧電気料金高騰に対する中小事業者等への支援 特別高圧契約により受電した電気を使用する県内中小事業者等に対して、電気料金高騰の影響額の一部を支援	1,800百万円
○ 地域の実情に応じた中小事業者への支援 コロナ禍に加えて、電力・ガス・物価高騰等の影響を大きく受けた県内中小事業者に対して、市町が単独で支援事業を行う場合、県が事業費の一部を補助	800百万円
○ 生活困窮者への支援体制の強化 物価高騰等の影響により、生活に課題を抱える生活困窮者の多様な支援ニーズに対応するため、生活困窮者への支援体制の強化を図る市町の取組を支援	5百万円
○ LPガス料金高騰に対する支援 家庭業務用LPガスを使用している県内の一般家庭及び中小企業等に対して、LPガス販売事業者を通じ、料金高騰の影響額の一部を支援	1,935百万円
○ 学校寄宿舎における燃料価格高騰対策 県立・私立学校の寄宿舎における燃料価格高騰に対する負担軽減を図るため、価格上昇分を設置者等へ支援	33百万円

(2) ネットゼロカーボン等の取組の後押し [674百万円]

<p>○ EVバス導入に対する支援</p> <p>今後の持続可能な公共交通の実現に向けて、原油価格高騰等の影響を受ける交通事業者がEVバスを導入する経費の一部を支援</p>	240 百万円
<p>○ 中小企業の付加価値創出の環境整備に向けた支援</p> <p>物価高騰等の影響を受ける中小企業に対して、付加価値を創出できる環境整備のため、販路開拓支援と併せて、企業間の適正な取引につなげる「パートナーシップ構築宣言」の普及を促す取組を実施</p>	88 百万円
<p>○ 賃上げ環境整備に向けた支援</p> <p>物価高騰等の影響を受ける中小企業等に対して、持続的に賃上げを実施できる環境を整備するために必要な生産性向上・賃上げに向けた取組を支援</p>	50 百万円
<p>○ 観光DXの推進</p> <p>今後インバウンドの回復が見込まれる中、物価高騰や人手不足等の課題を抱える観光関連事業者に対して、デジタル技術を活用した生産性向上を図る取組を支援</p>	281 百万円
<p>○ 農業水利施設の省エネルギー化に向けた支援</p> <p>農業水利施設の省エネルギー化に取り組む施設管理者等に対し、エネルギー価格高騰に伴う影響額の一部を支援</p>	15 百万円

2 新型コロナウイルス感染症への対応 9,159百万円[基金積立を除く実質事業費]

(1) 感染拡大防止対策 [103百万円]

<p>○ ワクチン接種に係る相談体制の確保</p> <p>新型コロナウイルスワクチンを県民が安心して接種できるよう、副反応等の相談体制を確保</p>	103 百万円
--	---------

(2) 医療提供体制の確保 [7,336百万円]

<p>○ 医療提供体制の確保</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者を幅広い医療機関で受け入れるための設備整備等を支援するとともに、入院医療費の自己負担に対する支援を継続</p>	1,761 百万円
<p>○ 病床の確保</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者の入院病床を確保するための空床補償として、医療機関に対し必要な経費を継続して支援</p>	5,575 百万円

(3) その他 [1,719百万円]

<p>○ 感染者数の定点把握</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、定点医療機関を通じた感染者数の定点把握を実施</p>	2 百万円
---	-------

<p>○ 介護サービス事業所等のサービス提供体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による介護サービス事業所等におけるかかり増し経費について継続して支援 ・介護サービス事業所等における感染拡大防止対策等を充実させるため、国からの交付金を「地域医療介護総合確保基金」へ積立 	<p>1,689 百万円</p> <p>1,689 百万円 [基金積立]</p>
<p>○ 障害福祉サービス事業所等のサービス提供体制の確保</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による障害福祉サービス事業所等におけるかかり増し経費について継続して支援</p>	<p>28 百万円</p>
<p>○ 新型コロナウイルス感染症対策基金への積立</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関して受領した寄附金を「新型コロナウイルス感染症対策基金」へ積立</p>	<p>7 百万円 [基金積立]</p>

3 ウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復に向けたLXの実践 419百万円[再掲]

<p>○ 中小企業の付加価値創出の環境整備に向けた支援（再掲）</p> <p>物価高騰等の影響を受ける中小企業に対して、付加価値を創出できる環境整備のため、販路開拓支援と併せて、企業間の適正な取引につなげる「パートナーシップ構築宣言」の普及を促す取組を実施</p>	<p>88 百万円</p>
<p>○ 賃上げ環境整備に向けた支援（再掲）</p> <p>物価高騰等の影響を受ける中小企業等に対して、持続的に賃上げを実施できる環境を整備するために必要な生産性向上・賃上げに向けた取組を支援</p>	<p>50 百万円</p>
<p>○ 観光DXの推進（再掲）</p> <p>今後インバウンドの回復が見込まれる中、物価高騰や人手不足等の課題を抱える観光関連事業者に対して、デジタル技術を活用した生産性向上を図る取組を支援</p>	<p>281 百万円</p>

4 その他

152百万円

<p>○ サンフレッチェ広島への支援</p> <p>地域経済の活性化を図るため、中四国唯一のJ1リーグのチームであるサンフレッチェ広島の運営会社に対して追加出資を実施</p>	<p>1 百万円</p>
<p>○ 「県民の森」の施設運営</p> <p>一部施設を休止している「県民の森」において、利用者ニーズに沿ったサービスの提供と持続的な運営が可能となるよう施設機能の見直しを進めるとともに、休止施設の収支を考慮し、指定管理料の額を変更</p>	<p>51 百万円 [債務 75 百万円]</p>

<p>○ 新動物愛護センターの整備及び運営</p> <p>資材高騰及び金利上昇を踏まえ、民間資金を活用した新動物愛護センターの整備及び運営に係る委託料の額を変更</p>	<p>9 百万円</p> <p>[債務 119 百万円]</p>
<p>○ こども家庭センター所管区域の見直しに伴う支所の設置</p> <p>西部及び東部こども家庭センターの支所設置に向け、施設改修の実施設計を実施</p>	<p>18 百万円</p>
<p>○ 高病原性鳥インフルエンザ等への対応の強化</p> <p>高病原性鳥インフルエンザ等の重大な動物感染症への対応として、飼養衛生管理基準の遵守を飼養者に徹底させるなど発生予防対策を強化するとともに、発生農場における防疫措置の早期完了に向けた対策を実施</p>	<p>44 百万円</p>
<p>○ 広島港出島地区における港湾機能の強化</p> <p>広島港出島地区において、将来貨物量の増加に適切に対応していくため整備を進めている荷役機械（ガントリークレーン）について、資材の調達見込等を考慮し、製作・据付工事を前倒して実施</p> <p style="text-align: right;">【港湾特別整備事業費特別会計】</p>	<p>30 百万円</p> <p>[債務 1,070 百万円]</p>

《新型コロナウイルス感染症対応の累計》

＜令和元年度から＞

総額 6, 285 億 4 千 6 百万円

令和 4 年度までの累計	548,053 百万円
令和 5 年度現計予算（補正前）	70,914 百万円
令和 5 年度 6 月補正	9,578 百万円

※基金積立を除く実質事業費

■条例〔11件〕

【新設】（1件）【改正】（10件）

○広島県宅地造成及び特定盛土等規制法施行条例 など

■人事案件〔3件〕

○広島県副知事の選任の同意について など

■その他の議案〔2件〕

○工事請負契約の変更について など

■意見書〔5件〕

○地方財政の充実・強化に関する意見書 など

G7広島サミットで 福山産の酒類が提供されました！

- G7広島サミットでは、各国首脳の食事などで広島県産の食材や飲料が豊富に提供されました。
- 福山市では、神辺町の天寶一から福山大学が開発したバラ酵母が使われた日本酒「純米吟醸ローズマインド」が各国代表団に、山野峡大田ワイナリーからワイン「富士の夢2021」「北天の雫2021」が首脳のワーキングランチ・ディナーで振舞われました。
- さらに、会談会場の装飾にも、福山市花のバラが採用され、彩を添えております。
- 世界中から注目されたG7広島サミットのおもてなしの品に地元福山市の数多くの産品が選ばれたことは、大変光栄で喜ばしいことだと思います。
- また、サミットで提供された食材や飲料などについて、その後、多くの問い合わせや注文が続くなど、大きな反響がありました。
- サミットを契機に、国内外に対する広島食や県産品の認知度が大きく向上したところですが、今後は、その効果を一過性のものに終わらせるのではなく、引き続き、広島の魅力発信に取り組み、本県の更なる発展につなげてまいります。

(福山市公式ツイッターから)



(天寶一：純米吟醸ローズマインド)

(福山市公式ツイッターから)



(山野峡大田ワイナリー：富士の夢2021)

福山市内の総合治水対策

～神辺地域の整備が進展しています！～

■平成30年7月豪雨により、福山市で甚大な浸水被害が発生したことを踏まえ、平成31年2月、国・県・福山市等の関係機関により「福山市域における浸水対策」を取りまとめ、計画的に対策工事等を進めています。

■神辺地域においても、古市排水ポンプ場（天王前川）のポンプ増設工事や調節池拡張工事が令和4年出水期までに完了し、排水能力が2倍以上に向上しています。

《ポンプ排水能力》

120m³/分 → 264m³/分

■今後も河道掘削や排水機場整備等を推進するとともに、下水道整備や流域内における雨水流出抑制施設（遊水地・ため池・貯留施設等）の設置など様々な対策を組み合わせる「総合的な治水対策」を検討し、流域住民の皆様が安心して暮らせるよう防災対策の徹底に取り組んでまいります。



(調節池拡張工事)

(ポンプ増設工事)

